

平成 30 年度

淑徳 SC 高等部

入試問題

(一般入試)

数・英・国

平成 30 年度

淑徳 S C 高等部

入学試験問題

国 語

(50分・100点)

一般入試

2月10日(土)

【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないで下さい。
- 2 問題は【1】～【5】まであります。印刷がかすれて見にくい場合は、申し出て下さい。
- 3 問題用紙・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
- 4 解答は、解答用紙の指定された場所に記入して下さい。
- 5 試験終了の合図まで静かに着席して下さい。
- 6 すべて、監督の先生の指示にしたがって下さい。
- 7 問題用紙も回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【1】 次の——線部の漢字の読みを答えなさい。

- ① 教科書を黙読する。
- ② 自然の恩恵を受ける。
- ③ ものかげに身を潜める。
- ④ 作者の思想が凝縮された作品。
- ⑤ 通常より廉価で販売する。

【2】 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 駅でメズラしい人にあった。
- ② シンセンな材料を使って調理する。
- ③ 副操縦士に操縦をマカせる。
- ④ コヨミの上では春になった。
- ⑤ キソ的な学力を身につける。

【3】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「もつと地面を蹴り出せ。ももを高くあげろ！」
ひとけのない中央公園に、父さんの声がひびいた。

中央公園には広いグラウンドがある。週末は地域の野球やサッカーのチームが使っているが、タやみがせまった今、昼間のにぎやかさはうそみたいに、ひっそりしている。

百メートルを五本走った走哉の息は、すっかりあがっていた。両手をひざについたまま肩を上下させていると、眉間にしわをよせた父さんが近寄ってきた。

「走哉は背が高いんだから、もつとストライドを広くとれ。何度も言うてるだろ」

ストライドというのは、歩幅のことだ。走哉は返事をするかわりに、父さんのあごのあたりを見上げた。

「いつもより少し大またのつもりで走れば、ももだつて自然と高くあがるんだ」

身長が一九〇センチ近くもある父さんの声が、頭上にふってくる。

「それから大事なことは視線だ。足が遅いやつていうのは、たいがい下を向いて走ってる。ずっとまっすぐ前を見て走れば、必ずタイムがあがる」

次々に言われるいろんなことが、走るたびに頭からあふれ出して、ぼろぼろと落ちていく。

「さ、次はスタートダッシュの練習だ。スタートダッシュこそ、短距離の命だからな」

父さんはそう言いながら、つま先で地面に線を引いた。

公園の向こう側には、真っ白いマンションがぼんやりうかんでいる。同じクラスの陸が住んでいるマンションだ。

ふたりでハマっているゲームのことが頭をよぎった。陸は今ごろ、新しいモンスターの攻略中だろうか。

「ハイ！ 位置について」

走哉の思考をさえぎるように、父さんは強い口調で言った。

スタートダッシュを七本やり終えたとき、公園の外灯がいつせいにいった。その中を自転車が進んで来た。

「お父さん。お兄ちゃん。もう夕ごはんだから、お母さんが帰っておいでって」

妹のひらりだ。

ひらりは走哉たちの目の前で急ブレーキをかけた。ポニーテールの髪先が勢いよくはねる。ひらりのほおは、青白い外灯に照らされても、ピンク色に上気している。

これでやっと帰れるかと思って、父さんに気付かれないように、こっそりため息をついた。

「ひらりも明日の体育で、短距離のタイム計るんじゃないのか？ そのタイムで運動会のリレー選手決まるんだろ？」

父さんは人が入れかわったみたいやさしい声で、ひらりに声をかけた。

「うん。そうだよ」

ひらりが首をかたむけた。

「じゃ、ひらりもスタートダッシュの練習やってくか」

「うん、今のクラスだったら、わたし、楽勝でリレー選になれるし」

学校では、リレー選手のことを、リレー選と略している。ひらりの鼻の穴がふくらんだ。

「自信たっぷりだな」

父さんは苦笑した。

父さんは高校時代スプリンター（短距離選手）としてインターハイに出場した。大学でも陸上を続けていたが、足首の故障で選手としては断念したらしい。

ひらりは、小学三年生。

運動神経は抜群だ。

走哉が苦勞して乗れるようになった自転車も、ひらりは幼稚園の年長の頃にはたいして練習もせずに、補助輪なしで乗っていた。

逆上がりもいつの間にか出来ていたし、それに何より足が速い。小学校にあがってからは、毎年リレーの選手に選ばれている。

六年生の走哉は、いまだかつてリレーの選手になったことがない。

「走哉ラスト三本やるぞ」

「ひらりの前で練習するのは、気が進まなかったが、そんなこと口には出来ない。」

首を回したり、両腕をぐるぐる回して時間をかせいでいたら、ひらりはいつの間にか、公園のすみにある大きなけやきの木に自転車を付けて、木登りを始めていた。

家までの帰り道、父さんが口を開いた。

「こんな、にわか練習じゃ、効果ないかも知れないけど、やらないよりはマシだからな。明日の百メートル走がんばれよ」

走哉は父さんと、一カ月前くらいから週末の夕方に、短距離走の練習をしてきた。

「うん……」

走哉は力なく返事をした。

確かにリレー選にはなりたいたいと思う。かつこいいし、運動会のヒーローだ。あこがれ、かも知れない。

でも、おれがリレー選なんて、ちよつと大それてないか？ それに本当にそんなになりたい？ 父さんを喜ばすため？

リレー選って、実はなんだかちよつとピンとこない。

翌日の三時間目の体育で、百メートル走の計測が予定通り始まった。名前の順番で、走哉は康介と走る。康介はサッカー少年で運動ができる。去年は同じクラスではなかったが、確かりレー選手に選ばれていたと思う。

ひざをかかえて地面に座り、順番を待つ。

ももを高くあげること、ストライドを広くとること、²もつと気をつけることがあつたはずだけど、思い出せない。

となりの康介をちらりと見ると、まっすぐ遠くの空を見ていた。今日はず

す曇りで、灰色なのか水色なのか、はつきりしない空だった。

「おお、はやー」

まわりからどよめきが起り、トラックに目をうつすと、ヒロシがいつしよに走っている走者をぶつちぎって、ゴールするところだった。

「今年のリレ選は、ヒロシかな」

「いやあ、康介もいるしね」

だれかが言ってるのが聞こえる。

顔を動かさずに目だけでとなりを見た。

自分のことを言われているのに、康介はやっぱりまっすぐ遠くを見たまま、体育座りした置物みたいにかたまっていた。

いよいよ、走哉の順番が回ってきた。

スタートラインに立ったとき、おでこに風があたって、前髪がふわりとういた。

さっき思い出せなかったことが急によみがえった。

まっすぐ前を向いて、ゴールラインの先まで駆けぬけること。

「位置について。よいい、スタート！」

先生のかげ声とともに、いい感じのスタートダッシュが切れた。

前に！ 前に！

ゴールの先に見える正門に視線を固定して、ただただ走った。肩を並べて走っていた康介のことなど、全く気にならなかった。ひとりで無心に走った。

そして、走哉の方がちよつとの差で、康介より先にゴールラインを駆けぬけたことを、あとから知った。

「走哉すごいよ。康介より速かった」

走り終わった列に並ぶときに、陸が走哉の肩に手をかけて、そつとA打ちしてきた。

走哉は言葉がすぐに出てこなかった。まぐれだよ、とも言いそびれた。陸の息のくすぐったさが、Aの奥に残っている。

……もしかしてもしかしたら、リレ選が大それたことじゃなくなるかも知れない。

去年リレ選だった康介より、速かったんだ。

³ 心が波打っているのは、走り終わって息が苦しいからだけじゃない。

タイムはその場で教えてもらえず、帰りの会のとき、先生から選手の発表をされることになっている。

こぶしに力がこもった。

午前六時。

走哉は運動靴のかかとをふんだまま、そつと玄関を出た。ひんやりした空気が体全体を包みこむ。思わず、Tシャツから飛び出した両腕をさすった。十月に入って、きびしかった残暑がうそのように、涼しくなった。運動会は一週間後にせまっている。

運動靴をひきずるようにして通りの角までくると、ようやく腰をかがめた。かかとを押しこみ、靴ひもをきつくしめる。

ひらりのやつ、やっぱり起きられないじゃないか。

ひらりを極力起こさないようにそつと出てきたくせに、心の中ではひらりのことをなじった。

リレー選手決めの百メートル走が終わった翌日から、走哉は父さんに言われて、早朝ランニングを始めた。

体力をつけること。それが走哉の一番の課題らしい。

結局、リレー選手にはなれなかった。かすりもしなかった。

走哉のクラスからは、ヒロシとかおりが選ばれ、男子の補欠は、スポーツが出来る印象もない、山田くんという意外な※1伏兵だった。

先生の口から山田くんの名前が出たとき、ヒロシのとき以上にクラスがわき立った。山田くんは「えーっ」とひととき大きな声を上げていきなり立ち上がり、そして真っ赤になってあわてて座った。その様子にまた盛り上がった。

こっけいで、でもほほえましい山田くんの様子に、走哉もみんなといっしょに笑おうとしたが、笑った顔にはならなかった。⁴ 笑おうとすればするほ

ど、顔だけでなく胸もひきつった。

ひらりは、当たり前みたいに、リレー選手に選ばれた。

昨日の夕飯のときも、またその話題になった。

「わたしもお父さんみたいに、陸上の選手になろつかなあ」

父さんの真つ黒に日焼けしたこわもてが、でれでれにくずれた。

「ハハハ。そんなに簡単になれるものか。陸上は才能だけじゃダメだ。陸上ほど地道な努力が必要なスポーツはないんだぞ」

才能とか努力とか、そんな言葉が走哉の胸にいちいち刺さる。

「じゃあ、わたしも明日から、お兄ちゃんと朝いつしよに走る」

「そうだな。リレーに向けて、しつかり練習しないと」

軽く屈伸をしたり、足首を回したりしたあと、走り始めた。まずは中央公園に向かってまっすぐ走る。やや上り坂だが、まだ走り始めなので苦しくはない。

アスファルトを蹴る音が、静かな住宅街に吸い込まれていく。中央公園まで約八百メートル。公園に入ると、ペースダウンして息が整うまで、歩く。

走っているときは、走りに集中していたのに、歩き始めると、⁵いろいろなことが頭をよぎります。

康介にせり勝ったとき、陸が「すごい」って言うてくれた。⁶あのとき、少しでも期待してしまっただけ、いっそうみじめさが増した。

康介に勝ったのは、本当にまぐれだったのだろう。

父さんの運動神経は、きつとおれを素通りして、ひらりにだけ遺伝したんだ。

なのに父さんは、努力が足りないっていつも言う。

奥歯に力がこもった。心の中のものやが出口を失って、胸の中が苦しくなる。

ハッと腕時計を見ると、中央公園に入ってから十五分も経っていた。

中央公園の内周は約四百メートル。いつもは、この内周を二周走る。走哉

はあわてて走り出した。

吸って、吸って、はいて。

吸って、吸って、はいて。

呼吸に集中すると、走りに集中できる。⁷余計なことは考えなくてすむ。

二周走り終わると、ほとんど休けいせずに帰路を走り出した。やわらかな朝日が目に入り、帽子のつばをクイッと引いた。

家に帰ると、パジャマ姿のひらりが母さんにまとわりついて、ぐずっていた。「わたしもいつしよに走るって言ったのに。お兄ちゃん起こしてくれなかったあ」

ひらりは、母さんの腰にだきついて前後にゆさぶった。母さんは、ちよっぴり困ったような、なかばあきれたような顔をしながら、ゆさぶられるがままになっている。「起こしてくれなんて、たのまれてねえし。自分で勝手に起きろよ」

すれ違いざまにつぶやいた言葉を、ひらりは耳ざとくキャッチして、大げさに泣き始めた。

「どうした、ひらり」

ネクタイをしめながら、父さんが顔を出した。

「あ、お父さん」

母さんが加勢してくれそうにないのが分かったと、ひらりは父さんのもとへかけ寄った。

チッ、⁸めんどくせえ。

走哉は着替えるために、二階の自分の部屋へかけ上がった。

(佐藤いつ子『駅伝ランナー』による)

※1 伏兵……思いがけないときに現れる競争相手や障害のたとえ。

問一——線部1「ひらりの前で練習するのは、気が進まなかった」とありますが、ここでの走哉は、どのような感情を持っていると考えられますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 帰れると思い、気が抜けた姿を妹には見せられないと思う感情。
イ 毎年リレーの選手に選ばれている妹の前では気まずいと思う感情。
ウ いつもと違う厳しい父の姿を妹の前では見せたくないという感情。
エ タゴはんの時刻を知らせに来てくれた妹に感謝し、氣遣う感情。

問二 — 線部2「もつと気をつけること」とは何ですか。本文中から三十字以内で抜き出しなさい。

問三 — **A**にあてはまる語として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 頭 イ 耳 ウ 舌 エ 肘

問四 — 線部3「心が波打っているのは、走り終わって息が苦しいからだけじゃない」とありますが、どのような意味だと考えられますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 一ヶ月間の無理な練習で体調をひどく崩してしまったということ。
イ リレーの選手になれるかもしれないと思いが弾んだということ。
ウ まぐれだよと言えず、人間関係の悪化を心配しているということ。
エ 康介にせり勝ち、陸に誉められたことで胸が高鳴ったということ。

問五 — 線部4「笑おうとすればするほど、顔だけでなく胸もひきつた」とありますが、なぜだと考えられますか。適切でないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 早朝ランニングを毎日していたにもかかわらず、リレーの選手に選ばれなかったから。

イ 去年リレーの選手だった康介より速かった自分が、リレーの選手に選ばれなかったから。

ウ 自分がリレーの選手に選ばれるかもしれないと期待していたが、選ばれなかったから。

エ 自分ではなく、スポーツができる印象のない山田くんがリレーの補欠選手に選ばれたから。

問六 — 線部5「いろいろなこと」、7「余計なこと」は、どちらも同じ内容を表していると考えられる。この共通する内容を簡潔に表している表現を本文中から八字で抜き出しなさい。

問七 — 線部6「あのとき、少しでも期待してしまった分、いつそうみじめさが増した」とありますが、期待したことがわかる走哉の動作を本文中から十字で抜き出しなさい。（句読点は含まない）

問八 — 線部8「めんどくせえ」について、なぜそう思ったと考えられますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 着替えるために二階の自分の部屋に行かなければならないから。
イ 母さんが予想に反して加勢してくれないとわかったから。
ウ 自分のせいで泣いたひらりに父さんが加勢したから。
エ ひらりが走哉の冷たい対応を父さんに告げ口しそうだから。

問九 この小説中の人物は、どのように描かれていますか。次の①～⑤について、本文の内容に合っているものには○で、違っているものには×で答えなさい。

- ① 「陸」は同じクラスではないが、昨年リレーの選手に選ばれた人物。
- ② 「父さん」は、長距離選手としてインターハイに出場した人物。
- ③ 「走哉」はコンプレックスを抱えているが、父の指導に従う人物。
- ④ 「ひらり」は小学三年生で甘えん坊だが、運動神経抜群な人物。
- ⑤ 「父さん」は「ひらり」には優しいが、「走哉」には厳しい人物。

【4】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本語については、とかく、主語がはつきりしなくてあいまいだとか、述語が最後にくるので言いたいことが分からないとか、あれやこれやと議論が絶えない。だが私は、日ごろからそれらを、的外れもはなはだしい擬似問題だと思っている。それどころか、1 そのように問題とされるところこそ、日本語の最も論理的な部分があるとさえ考えているのである。

唐突な質問ではあるけれど、手紙の宛名の書き方は、2 はたして日本流と西洋流とどちらがすぐれているだろうか。そう、私たちは「〇〇県」「〇〇市」「〇〇町」「〇〇丁目」「〇番地」という形で、大きな力テグリーから次第に小さなものへと限定し、最後に個人の名前をもつてくるが、西洋ではこれが逆になるというあの書き方である。いかがだろう。私は、まぎれもなく日本流が理にかなっていると感じるし、そのことは、実は、多くのフランスの友人たちも認めているところなのだ。

日本語の主語・述語と呼ばれるものの働きは、まさにこの宛名書きの形式に一致する。ために、主語をめぐる議論で有名になった「象は鼻が長い」の一文を考えてみよう。そもそも日本語に主語という概念がふさわしいかどうかを検討せずに、「象は」が主語か「鼻が」が主語か、など論じることがやめにして、今は、3 この表現の論理展開だけに注目していただきたい。まずこの表現は、「象は」と言つて、語るべき主題を提示し、さらにこの主題のなかで「鼻」を限定することによって、順次、その内実を語っていく。つまり、日本語の論理のプロセスも、基本は宛名書きと同じく、大きな力テグリーから次第に小さなものへと絞りこんでいくスタイルなのである。

こうした日本語の発想は、すぐれて「探索的」かつ「発見的」なものとなる。なぜならそれは、私たちの内部で初めは漠然としていたものが、次第に明らかになっていくプロセスを正確にたどっているからだ。当初は何もない

ところで、にわかに一つの意味が姿をとり始める。それを私たちは「は」という表現により、かなり大ざっぱな一領域として設定する。そしてこの領域がひとたび決まれば、今度はそこに「が」という表現があらわれてその領域をさらに細かく限定する。この限定されたものは、さらに次の表現によって限定され、それはまた……と続いて以下同文。最後には、見事に※1 彫琢された結論が得られるというわけである。

とりわけ、このプロセスにおける最初の「は」という表現などは、日本語の特徴をきわだたせるものであるとともに、単なる言語学的な視点をこえたところで、豊かな思想的意味をかいま見せてくれもする。通常、学校文法では「は」「が」「も」などの格助詞をしたがえるものを「主語と呼んではばからない。しかしながら、「佐藤はもうとつて来ているけれど、鈴木はまだ見ていないなあ」というような場合、「鈴木は」の部分の主語と呼ぶわけにもいかないだろう。そこで国語学者たちは、「は」という表現に「主題提示」といった定義をあたえて、決着をつけたように思いこむ。そして、思いこんで安心し、「は」のもつ認識論的な重要性をすっかり見のがしてしまうのである。

あたりまえのことながら、私たちはつねに世界のなかで生き、そこであれやこれやの関心をもちながら、世界とさまざまな関係を取り結んでいる。私たちが、べつにこれといった注意もはらわなければ、世界は、ぼんやりとしたまどろみのなかにあるのだが、ひとたびそのどこかに注意を向けるならば、とたんに世界も、それに応じた表情を見せるようになってくる。したがって、世界と私たちとは表裏の関係にあると言つていいだろう。

こうした世界のただなかにあつて、私たちの前には、いつも一つの「知覚野」と呼ばれる意識の領野が広がっているのだが、ここに、ある時ふいに、「①」としたうながしのようなものが生じてくる。このうながしは、少

しずつ意識化のプロセスをたどり、それが次第に形をとって、ついには命名というレベルにまで達することになる。そこで私たちは、「くは」という言いまわしによって、言語表現への決定的な第一歩を踏み出すことになるわけだ。つまり、やや大げさな物言いを許していただければ、「くは」には、西洋語の主語にはない「知覚」から「言語」への移行が表現されている。まさしくこれこそが、西洋語には見られない「くは」のもつ認識論的な重要性なのである。

4 この決定的な一歩が踏み出されてしまえば、その後は、すでに述べたように、言語上での細かい限定作業が続けられるばかりとなる。思考するとは、結局、思考する領域を次第に画定し、いつそう明確化していくことにほかならない。このような明確化の歩みは、広範な領野から次第に絞りこまれていく以上、いながらにして「帰納的」であるはずだ。さらにまた、それが一個人の言葉によってなされるものであれ、対話者の言葉を含むものであれ、いずれにしても共通の領野の中で下位区分しようとするのだから、重ねられる言葉は「協調的」なものになるだろう。

これに対して⁵西洋語の論理はどうなるか。「AはBである。なぜなら、くであり、くであり、くであるからだ」——こうした論理は、かならずや「く②」的「演繹的」「対立的」とならざるを得ない。それはすでに「AはBである」と言ったところで勝負がついているのであり、結論は、それが正しいか誤っているか、二つに一つしかないのである。つまり、このような西洋語の論理は、あらかじめ論者のなかで決着のついたことがらを戦わせるには好都合だが、日本語のように、探索し、帰納し、協調して、不確かなものから徐々に結論を創造してゆく論理にはなりにくい。

6 その意味では日本語の論理の方が、実は、はるかに「発見的」であり「創造的」なのだが、いかんせん、国際会議あたりで論争するうえでは分が悪い。

さらにまた、日本語の論理は、私たちが「く③」的であればこそ、その^{※2}全き論理性を発揮するものであるにもかかわらず、わが同胞には、不確かなものを不確かなまま放置して、いつこうに動じないふうもある。

(加賀野井秀一『日本語は進化する』による)

※1 彫琢……宝石などを刻んで磨くこと。詩文を練り上げること。

※2 全き……完全で欠けたところがないこと。

問一——線部1「そのように問題とされる」とありますが、それはどういうことですか。説明として最も適当なものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア 日本語の主語のあいまいさや言いたいことが分からない文構造などについていろいろ議論されていること。

イ 日本語は外国語と比較すると表現が叙情的であいまいすぎると人々にいろいろ議論されていること。

ウ 日本語の持つあいまいさは日本文化に大きな影響を与えていると人々の間でいろいろ議論されていること。

エ 日本語のあいまいさを解消し欧米人とのコミュニケーションが自然に交わされるよう議論されていること。

問二——線部2「はたして日本流と西洋流とどちらがすぐれているだろうか」について、筆者はどのように考えていますか。適切な部分を本文中から二十字以内で抜き出さない。

問三——線部3「この表現の論理展開」について、筆者はどのようなものと説明していますか。本文から三十字前後で抜き出し、最初と最後の五字ずつで答えなさい。

問四 「①」には、「物事があやふやではつきりしないさま」という意味の四字熟語が入ります。次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 言語道断 イ 巧言令色 ウ 無味乾燥 エ 曖昧模糊

問五 —線部4「この決定的な一歩」とはどういうことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「言語」から「知覚」へと移行すること。

イ 「命名」することにより「意識化」すること。

ウ 「知覚」から「言語」へと移行すること。

エ 「意識化」することにより「命名」すること。

問六 —線部5「西洋語の論理」について、筆者はどのような場合に向いている論理だと述べていますか。「…場合」に続く形で二十五字程度で抜き出しなさい。

問七 —線部6「その意味」とはどういうことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日本語は、主語がはつきりせず述語が最後にくるので言いたいことが分かりにくいということ。

イ 日本語の論理は、不確かなものから結論を創造する論理にはなりにくいということ。

ウ 西洋語は、主語がはつきりせず述語が最後にくるので言いたいことが分かりにくいということ。

エ 西洋語の論理は、不確かなものから結論を創造する論理にはなりにくいということ。

問八 「②」「③」に入る最も適切な語句を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 機能 イ 探索 ウ 退廃 エ 既定

【5】 次の文章は、『枕草子』について書かれた文章である。後の問いに答えなさい。

なさい。

はづかしきもの色このお男の心の内。いざとき夜居の僧。みそか盗人の、さるべきものの隈々に ^a みて見るらんをば、誰かは知る。くらきまぎれに、ふところに物などひき入れる人もあらむかし。そはしもおなじ心に、をかしと思ふらん。

— なんだか心のうちを見透かされているような気がするもの。

まず第一に、女好きで恋の噂も華やかな男の心のうちを想像すると、なんだかなにもかも女の心なんか見透かされているようで、はづかしい。

寝ずに夜通しの加持祈禱に來ているお坊さんのまたなかなか寝ない人。夜のあいだのこちらの行動をすっかり悟られているようで、どうもはづかしい。

こそ泥が夜陰に乗じて忍び込んできて、まあしかるべき物陰などに潜んでいるというようなとき、まさかどこぞの物陰に、こそ泥が潜んでいるようなんで誰も気付きはしない。そこで、同じく夜陰に乗じて、そこらのものをちよいと懐に入れて盗んでいこうというような手癖の悪い使用人などもいるだろう。そういうとき、物陰で見ている泥棒めのほうでは、「ははあ、やつめ暗いと思って、まんまとかっぱらってやがるな」とか思つて、さぞ可笑しい思いがするだろう。そういう手癖の悪い者どもの心は、一枚うわての泥棒どのはにすつかりお見通しというところ。

「はづかし」という形容詞は、もちろん「恥」という名詞から活用させてできたもので、本来は、「自分のほうが恥を感じるような状況」を表わす言葉である。それはこちらがあまりにも無能であるとか、下劣であるとかいう

ような「至らなき」から、赤面したくなるような場合を言うばかりでなく、当面する相手があまりにも立派であつたり、有能であつたりして、あゝ、とても敵わないというような気持ちを持つときにも使われる。だから、今使う「恥ずかしい」というのとはちよつと方向がズレているのである。

さて、その「はづかし」の第一に挙げたのが「色このむ男の心の内」というのか、いかにも女ながら色好みであつた清少納言らしいところ。

この「色このみ(色好み)」という言い方は、現代語の「好色な人」というのとはかなり違つた意味を持つている。一言でいえば、色好みは、男の理想の姿だとも言えるのである。

思い出してほしい、あの兼好法師の『「A」』第三段にも、こういうことが言つてあつたことを。

万にいみじくとも、色このまざらん男は、いとさうぎうしく、玉の
厄の当なきこちぞすべき。

露霜にしはたれて、所さだめずまどひありき、親のいさめ、²世の誇り
をつつむに心のいとまなく、あふさきるさに思ひみだれ、さるは独寝が
ちに、まどろむ夜なきこそ「B」。

さりとして、ひたすらたはれたる方にはあらで、女にたやすからず思は
れんこそ、あらまほしかるべきわざなれ。

これはこういうことである。

家柄、学識、容姿など、何もかもが揃つているとしても、色好みでない、という男は、なんともはや寂しい寂しいことで、あたかもそれは、宝玉でできた美しい^{※1}厄の、肝心の底がないようなもの、という感じがする。やはり男たるもの、女に逢いにいくために、夜露に濡れ、霜に当たりなどとして、あちらこちらへ通いあるき、親の異見や、世間の悪い評判をどうやって逃れようかといつも、心を悩まして、ああでもな

いこうでもないと思ひ苦しみ、それでいて、結局どの女のところへも行かぬことのみ多くなつて、独り寝の床で夜も眠れずにいる、なんてのが良いわけだ。とはいへ、そんなようでありながら、ただただ^{※2}輕佻浮薄な人間ということではなくて、女たちにも疎んじられることなく、「あの方は決していい加減なお人柄ではないわ」なんてふうに思われるつてのが、まあ男としてはもつとも理想のありようということである。

この色法師吉田兼好がいみじくも書き残した文章のなかに、色好みということの精髓がみな込められている。

要するに、色好みというのは、まず第一に、美男でなくてはならぬ(美男じゃないと、はじめから女たちに相手にされないので色好みになりようがない)。そしてそれもべらべらした薄っぺらの二枚目というのではない。教養もあり、面白みも重みもあつて、会つて楽しく、話して為になるともいうか、そういう中身(能力)がなくてはいけない。

昔は、育ちが良くて、教養もあつて、その上に「「C」」ということが、人の魅力の必須条件であつたのだ。それは男も女も変わりがない。あまりに真面目で恋を知らぬものは、「つれなし」とか「かたくなし」とか言つて、泥臭いものとして軽視された。考えてみると、今でも、あまりに真面目な人は、異性にモテない、ということがある。適当に「ワル」であるということが、とくに男の魅力の一部分であることは、今日「ちよいワルおやじ」なんてものが持て囃される風潮を見てもわかる。

『平家物語』に出てくる公達で言うと、平重衡なんてのがその代表的な色好みである。『源氏物語』では、光源氏^{ひかりげんじ}がその典型で、あれほど色好みであちらこちらに浮名を流しつつ、日々懊惱^{おうのう}し続けた男もいない。

業のように恋に繋がれて、しかし、そのことでいつもあれこれと悩ましい思ひをしている、それが色好みなのであるが、そこで『枕草子』に戻ると、そういう男の、心のうちが「³はづかし」、だという。

つまり、女のほうから見ると、※3 朴念仁の※4 野暮天男なんぞは、女心を解しないこと夥しく、寧ろ女の方から男心をお見通しという位置関係になるわけで、これははずかしくない。しかし、色好みで聞こえた男は、それはもう何十人も女と関係を持ち、女心の酸いも甘いも噛み分けているわけだから、何をして、もうすっかり女心は見透かされているような気がするのである。だから、女からすると、そういう色好みの男は、「はづかし」と思ふのである。

つまり「はづかし」とは、さように、こつちが見透かされているような、心を裸にされているような思い、を言うわけである。

いや、もつとも、それは女の方から思ふことで、どんなに色好みの男でも、やつぱり女心は永遠の謎である。ひとりひとり、女心はみな違っていて、そのときどきの揺れ動き方、感情の激発やら、一転した優しさやら、蜜のようにとろける甘えや、そうかと思うと理由もわからぬ冷淡さや、光源氏だつて平重衡だつて、平貞文だつて、在原業平、だつて、みんな女心には翻弄されてるのだから、どうしてどうして、女の心はお見通しなんてわけにはいかないのだけれど。ははは。

(林望『リンボウ先生のうふふ枕草子』による)

※出題に際し一部省略し表現を変えた部分がある

※1 卮…酒を飲む時などに使う器。酒杯。

※2 軽佻浮薄…落ち着きがなく、行動が軽々しいこと。

※3 朴念仁…無口で愛想のない人。人情や物の道理がわからない人。

※4 野暮天男…野暮な男のこと。微妙な人情が分からない男のこと。

問一 線部 a「あて」、b「さうさうしく」をそれぞれ現代仮名遣いで書きなさい。

問二 線部 1「『恥ずかしい』というのとはちよつと方向がズレている」とありますが、それはどういうことですか。説明として最も適切なものを

を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 女である清少納言と男である兼好法師とでは意見がかなり違う。
イ 自分の失敗によりきまりが悪いという意味で現代の意味と違う。
ウ 立派な相手に気後れするという意味も含まれ現代の意味と違う。
エ 清少納言の感覚はとても鋭敏なので当時の人たちの感覚と違う。

問三 「A」にあてはまる作品名として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 万葉集 イ 徒然草 ウ 伊勢物語 エ 義経記

問四 線部 2「世の誇り」とは、どのような意味ですか。本文の現代文の部分から十字以内で探し、抜き出しなさい。

問五 「B」にあてはまる語句として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア をかし イ をかし ウ をかし エ をかし

問六 「C」にあてはまる語句として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 美男である イ 恋を知る ウ 真面目である エ 恥を知る

問七 線部 3「はづかし」とは、どのような思いを表すと筆者は述べていますか。適切な部分を本文中から三十字で探し、最初と最後の三字を抜き出しなさい。

問八 『枕草子』は三大随筆の一つですが、『枕草子』以外の三大随筆として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日本書紀 イ 伊勢物語 ウ 方丈記 エ 奥の細道

2月10日

受験番号

國語

氏名

氏名	
----	--

【2】		【1】	
①	①	①	①
い	い	い	い
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

【模範解答】

2月10日

受験番号

氏名

①	①	【1】	①	①	【2】
もくどく	②	おんけい	ひそめる	④	④
珍しい	②	新鮮	任せる	④	④
				暦	⑤
				基礎	⑤

⑥	⑨	⑤	④	④	③	④	⑥	④	④	③	⑤	⑥	⑨	②	③	③	②⑩
4+2	3×3	3+2	2×2	2×2			1×5	3×2	3×3								2×10
【5】					【4】					【3】					【2】		
問七	問四	問二	問一	問八	問四	問三	問二	問一	問九	問七	問四	問三	問二	問一	①	①	
こっち	世間の悪い評判	3点	a	②	工	あらかじめ論者のなかで決着のついたことが	まぎれもなく日本流が理にかなっている	ア	①	こぶしに力がこもった	イ	イ	まっすぐ前を向いて、ゴールラインの先まで	イ			
うな思い		2点	いて	③					②		心のものもやもや		駆けぬけること。				
う			b	イ	らを戦わせる				③								
			そうぞうしく		場合。				④								
									⑤								
									⑥								
									⑦								
									⑧								
									⑨								
									⑩								

平成 30 年度 淑徳 S C 高等部

一般入試

数 学

(50分 100点)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないで下さい。
2. 問題は①～⑤まであります。印刷がかすれてみにくい場合は、申し出て下さい。
3. 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
4. 解答は、解答用紙の指定された場所に記入して下さい。
5. 試験終了の合図まで静かに着席して下さい。
6. すべて、監督の先生の指示にしたがって下さい。
7. 問題用紙も回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1 次の問に答えなさい。

(1) $(-4)^2 \div (-2) + (-1)^2 \times 13$ を計算しなさい。

(2) 1 次方程式 $-2x - 3 = 8x - 13$ を解きなさい。

(3) 連立方程式
$$\begin{cases} 4x - 2y = 3x + 5 \\ 2x - 3y = 12 \end{cases}$$
 を解きなさい。

(4) 傾きが -5 で、点 $(-3, 15)$ を通る 1 次関数の式を求めなさい。

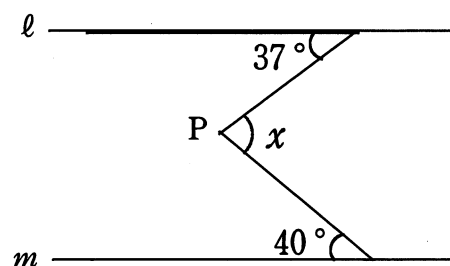
(5) $x^2 + 2x - 15$ を因数分解しなさい。

(6) $\frac{14}{\sqrt{7}} - \sqrt{21} \times \sqrt{3}$ を計算しなさい。

- (7) 右の表は、ある中学校の生徒 300 人の垂直とびの記録について、各階級の相対度数を求めて表にまとめたものである。記録が30cm以上40cm未満の生徒は何人いるか求めなさい。

階級 (cm)	度数 (人)
20 以上30未満	0.02
30 ~ 40	0.18
40 ~ 50	0.42
50 ~ 60	0.35
60 ~ 70	0.03
計	1.00

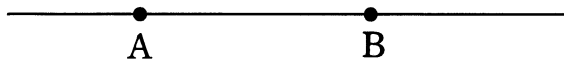
- (8) 右の図において、 $\ell \parallel m$ とする。 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



- (9) $-3 \times 2 - 4 + 6 = 12$ は誤った計算ですが、この式のどこかに () をつけると正しい式となります。() をつけた正しい式をかきなさい。

$$-3 \times 2 - 4 + 6 = 12$$

- (10) $\angle CAB = 45^\circ$ となる点 C を作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



- 2 ある中学校で、A さんがつくった問題をみんなで考えた。次の問に答えなさい。

[A さんがつくった問題]

連続する 3 つの整数を、小さいほうから順に、 a , b , c とする。
 $a - b + c$ の値と $a + b + c$ の値の関係を調べてみよう。

[A さんがつくった問題] で B さんは、 $a - b + c$ の値を x , $a + b + c$ の値を y として、連続する 3 つの整数 a , b , c が 1, 2, 3 の場合, 2, 3, 4 の場合, 4, 5, 6 の場合について、 x の値と y の値をそれぞれ計算したところ、 x と y のある関係に気付いた。

- (1) B さんは、次のように y を x の式で表したところ、表した式は正しかった。
次の空欄に当てはまる式をかきなさい。

< B さんの表した式 > $y = \boxed{}$

A さんがつくった問題をもとにして、先生は次のような問題をつくった。

[先生がつくった問題]

連続する 3 つの整数を、小さいほうから順に、 a , b , c とする。

$$P = a \times b + c$$

$$Q = b \times c - a$$

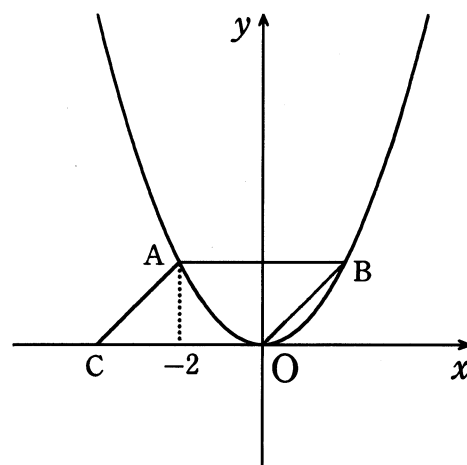
とするとき、 $P = Q$ となることを証明しなさい。

- (2) 先生が作った問題を解きなさい。

3 右の図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上に 2 点 A, B があり、

点 A の x 座標は -2 である。また、点 C は x 座標が負の数である x 軸上の点である。四角形 ABOC が平行四辺形になるとき、次の問に答えなさい。

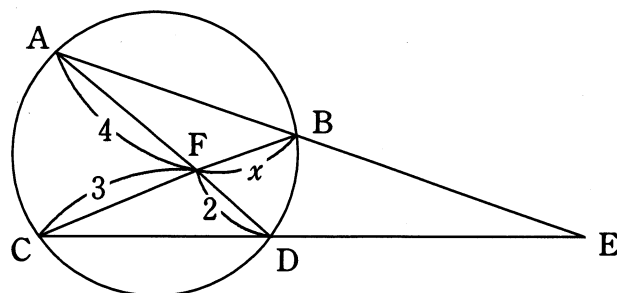
(1) 点 A の y 座標を求めなさい。



(2) 直線 OB の傾きを求めなさい。

(3) 点 C を通り、 $\triangle OCA$ の面積を 2 等分する直線の式を求めなさい。

- 4 下の図で、4点A, B, C, Dは円周上の点であり、直線ABと直線CDの交点をEとする。
このとき、次の問に答えなさい。



- (1) $\triangle ADE \sim \triangle CBE$ であることを証明するために、記号にあてはまる言葉を答えなさい。

【証明】

$\triangle ADE$ と $\triangle CBE$ において

ア なので

$\angle AED = \angle$ イ ... ①

ウ ので

$\angle A = \angle$ エ ... ②

①, ②より オ ので

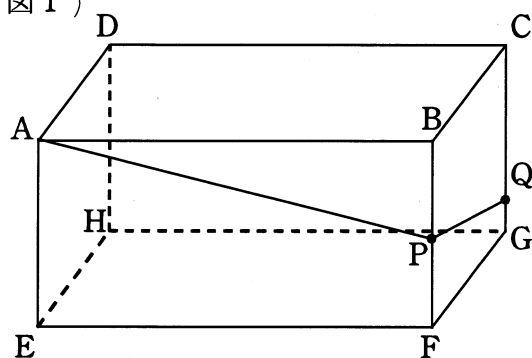
ゆえに、 $\triangle ADE \sim \triangle CBE$

(証明終)

- (2) BF の長さ x の値を求めなさい。

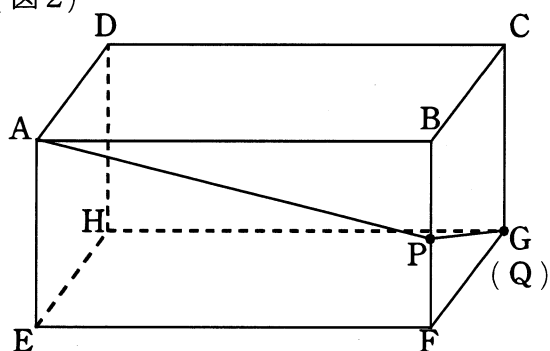
- 5 右の図1に示した立体 $ABCD-EFGH$ は、
 $AB = 8\text{ cm}$, $AD = 4\text{ cm}$, $AE = 5\text{ cm}$ の
 直方体である。
 辺 BF 上にある点を P , 辺 CG 上にある点を Q とし、
 頂点 A と点 P , 点 P と点 Q をそれぞれ結ぶ。
 次の問に答えなさい。

(図1)



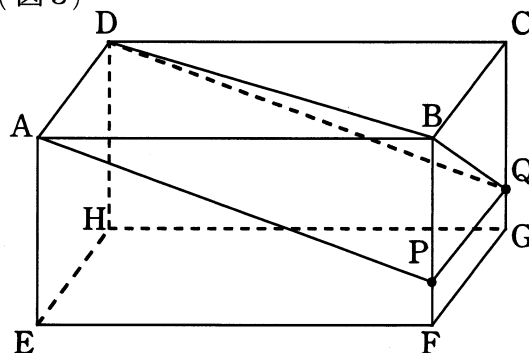
- (1) 右の図2は, 図1において, 点 Q が頂点 G に
 一致するときを表している。
 図2において, $AP + PQ = a\text{ cm}$ としたとき,
 a の値が最も小さくなる場合の a の値を求めなさい。

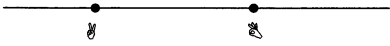
(図2)



- (2) 右の図3は, 図1において,
 頂点 B と頂点 D , 頂点 B と点 Q , 頂点 D と点 Q を
 それぞれ結んだ場合を表している。
 $BP : PF = CQ : QG = 4 : 1$ のとき,
 立体 $B-APQD$ の体積は何 cm^3 か求めなさい。

(図3)

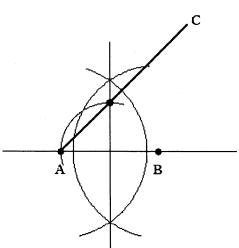


1	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	
	(7)	
	(8)	
	(9)	
	(10)	
2	(1)	
	(2)	

3	(1)		
	(2)		
	(3)		
4	(1)	(7)	
		(1)	
		(7)	
		(I)	
		(オ)	
	(2)		
	5	(1)	
(2)			

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

評 点	
-----	--

1	(1)	5
	(2)	$x = 1$
	(3)	$x = 9, y = 2$
	(4)	$y = -5x$
	(5)	$(x+5)(x-3)$
	(6)	$-\sqrt{7}$
	(7)	54 人
	(8)	$\angle x = 77^\circ$
	(9)	$-3 \times (2-4) + 6 = 12$
	(10)	

2	(1)	$3x$
	(2)	<p><証明> 連続する 3 つの整数を、a を使うと、 a, b, c は、$a, a+1, a+2$ と表せる。</p> <p>よって、$P=a \times b + c, Q=b \times c - a$ に代入すると、 $P=a \times b + c$ $=a \times (a+1) + (a+2)$ $=a^2 + 2a + 2 \dots \textcircled{1}$ $Q=b \times c - a$ $= (a+1) \times (a+2) - a$ $=a^2 + 2a + 2 \dots \textcircled{2}$</p> <p>①、②より $P=Q$ (証明終)</p>

3	(1)	2
	(2)	1
	(3)	$y = \frac{1}{3}x + \frac{4}{3}$

4	(1)	(7)	共通する角
		(1)	CEB
		(ウ)	1 つの弧に対する円周角の大きさはすべて等しい
		(I)	C
		(オ)	2 組の角がそれぞれ等しい
	(2)	$\frac{8}{3}$	

5	(1)	13
	(2)	$\frac{128}{3} \text{cm}^3$

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

評 点	
-----	--

平成 30 年度
淑徳 S C 高等部
入学試験問題
英 語

(50分・100点)

一般入試

2月10日 (土)

[注 意 事 項]

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないで下さい。
- 2 問題はリスニング問題と筆記問題があります。印刷がかすれて見にくい場合は、申し出て下さい。
- 3 問題用紙・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
- 4 解答は、解答用紙の指定された場所に記入して下さい。
- 5 試験終了の合図まで静かに着席して下さい。
- 6 すべて、監督の先生の指示にしたがって下さい。
- 7 問題用紙も回収します。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

① リスニングテスト（放送による指示に従って答えなさい。）

【問題 A】 次の A~D の中から適するものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

<対話文 1>

- A. It's on Tuesday.
- B. It's on Thursday.
- C. It's on Wednesday.
- D. It's on Monday.

<対話文 2>

- A. She wants to go to the library.
- B. She wants to go to the mailbox.
- C. She wants to go to the police office.
- D. Because she wants to go to the post office.

<対話文 3>

- A. He is going to his friend's house.
- B. He is going to a movie theater.
- C. He is going to his grandmother's house.
- D. He is going to his school.

【問題 B】 <Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

<Question 2>では、質問に対する答えを英語で書きなさい。

<Question 1>

- A. Because he can eat delicious food under cherry blossoms.
- B. Because he likes warm weather.
- C. Because he can see beautiful cherry blossoms with his family and friends.
- D. Because he can meet new people.

<Question 2>

15 秒程度、答えを書く時間があります。

2 次の英文から正しいものを5つ選び、番号で答えなさい。(順不同)

(1) There are a lot of flowers in the park.

(2) She is very tired yesterday.

(3) I can runs very fast.

(4) Who broke that window?

(5) He's good on drawing pictures.

(6) We were surprised at his words.

(7) Tom is the taller in his class.

(8) Jim knows himself well.

(9) Mary wants to buy a new camera.

(10) Look at the slept baby.

3 次の () 内に適語を入れて、日本文に合う英文を完成させなさい。

(1) この店は 9 時に閉められます。

This store () () at nine.

(2) この時計は私のものです。

This watch () ().

(3) 学校を休んではいけません。

() () absent from school.

(4) 彼はトムより上手にギターを弾きます。

He plays the guitar () () Tom.

(5) 私はお金を全く持っていません。

I don't have () () with me.

(6) 私はあなたに会えて嬉しい。

I'm glad () () you.

(7) あなたは今までに後藤さんに会ったことがありますか。

Have you () () Mr.Goto?

(8) 彼は裕福なので、その車を買うことができます。

He is rich () () buy the car.

(9) あなたはどのくらいここに滞在する予定ですか。

() () are you going to stay here?

(10) 寝る前に歯を磨きなさい。

Brush your teeth () () to bed.

4 次の日本文の意味に合うように () 内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。

ただし、文頭にくる語も小文字にしてあります。

(1) 私たちは 1750 年に建てられた寺を訪れました。

(in 1750 / built / the temple / we / visited / .)

(2) この仕事は私には難しすぎます。

This work (difficult / for / me / is / do / to / too / .)

(3) ブラウンさんはちょうどカナダから来たところです。

(has / Mr.Brown / come / Canada / just / from / .)

(4) この映画はあの映画より有名です。

(movie / famous / more / that / this / is / than / one / .)

(5) あなたは何か飲むものが欲しいですか。

(want / do / anything / you / drink / to / ?)

- 5 会話文の(①)～(③)にあてはまるものとして最も適切なものを下のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

John: Hi, Yumi. How are you?

Yuka: Fine, thank you. How are you?

John: Very well, thank you. Yuka, last Sunday I went bird watching.

Yuka: Oh, did you? (①)

John: Yes, I like it very much. I enjoyed watching many different birds there
for about two hours.

Yuka: Great. (②)

John: My father did. We had a very good time. And I'm going to go bird watching
at Lake Suwa tomorrow. (③)

Yuka: Of course, I will!

ア Who will go with you?

イ Will you come with me?

ウ Do you like bird watching?

エ Shall I go with you?

オ Who went with you?

6 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

I am interested in science. ① I have read a book about the *International Space Station before.

According to the book, there are fifteen countries joining in the program of the International Space Station. Scientists, doctors, and *engineers from the countries join in the program. They stay there ② several months. They study a lot of things about space. They work hard because they want to use the ideas ③ make our lives better in the future.

I was moved ④ the words of an *astronaut in the book. He says, “We saw the earth from the International Space Station. I am happy ⑤ live on a beautiful place like our earth.”

My dream is to be a scientist and work as an astronaut in the International Space Station. Someday I want to do many interesting *experiments ⑥ there and see our beautiful earth.

* International Space Station 国際宇宙ステーション *engineer 技師 *astronaut 宇宙飛行士
*experiment 実験

(1) 下線部①を日本語に直しなさい。

(2) 国際宇宙ステーションで、プログラムに参加しているのはどのような職業の人たちか、日本語で3つ答えなさい。

(3) 下線部②を本文中の英語5語で抜き出しなさい。

(4) ④～⑥にあてはまる前置詞を、下の語群から選び、記号で答えなさい。同じ記号を何度使っても構いません。

ア. in イ. to ウ. for エ. by オ. at
--

7 次の英文は、ロバート・スミス先生の自己紹介文です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

Hello. My name is Robert Smith. I came from New York to teach English at this school. I'm twenty-five years old. I like cooking, reading, and listening to music. I often play the guitar. Playing the guitar is fun to me.

I'm very happy to come to Japan again. I came to Japan with my parents before. I was sixteen years old at that time. My sister Nancy was in Kyoto to study Japanese history then, and we went to Kyoto to see her. We stayed there for ten days and I learned some Japanese words from her. Then I went back to New York, and I started studying Japanese. I can speak Japanese a little, but I can't write it. Writing *kanji* is very difficult. Do you think so?

We can learn the *culture of other countries *through their languages, so studying foreign languages is very interesting. Today we have a lot of chances to talk with foreign people from all over the world. You should try to talk to them to make your English better.

Let's enjoy (study) English together. Thank you.

*culture 文化 *through ～を通じて

(1) ()内の語を、文の内容を考えて適当な形に直しなさい。

(2) 以下の質問に、英語 3 語以上で答えなさい。

A) Is Mr. Smith from New York?

B) Who went to Kyoto with Mr. Smith?

C) Why should you try to talk to foreign people?

平成30年度 淑徳SC高等部 一般入試（英語） 解答用紙

1	A	1		2		3	
	B	1		2			

2					
---	--	--	--	--	--

3	(1)			(2)		
	(3)			(4)		
	(5)			(6)		
	(7)			(8)		
	(9)			(10)		

4	(1)					
	(2)	This work				
	(3)					
	(4)					
	(5)					

5	①		②		③	
---	---	--	---	--	---	--

6	(1)							
	(2)							
	(3)							
	(4)	A		B		C		D

7	1						
	2	A					
		B					
		C					

受 験 番 号	氏 名	

平成30年度 淑徳SC高等部 一般入試（英語） 解答用紙

1	A	1	A	2	D	3	C	2 × 5	/10
	B	1	C	2	summer				

2	(1)	(4)	(6)	(8)	(9)	2 × 5	/10
---	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----

3	(1)	is	closed	(2)	is	mine	2 × 10	/20
	(3)	Don't	be	(4)	better	than		
	(5)	any	money	(6)	to	see		
	(7)	ever	met / seen	(8)	enough	to		
	(9)	How	long	(10)	before	going		

4	(1)	We visited the temple built in 1750.	4 × 5	/20
	(2)	This work is too difficult for me to do.		
	(3)	Mr.Brown has just come from Canada.		
	(4)	This movie is more famous than that one.		
	(5)	Do you want anything to drink?		

5	①	ウ	②	オ	③	イ	2 × 3	/6
---	---	---	---	---	---	---	-------	----

6	(1)	私は以前、国際宇宙ステーションに関する本を読んだことがある。						4 4 4	/20
	(2)	科学者、医者、技師							
	(3)	in the International Space Station							
	(4)	A	ウ	B	イ	C	エ		

7	1	studying	2	4 4 4	/14	
	2	A	Yes, he is.			
	B	His parents did.				
	C	To make our English better.				

受 験 番 号	氏 名	